

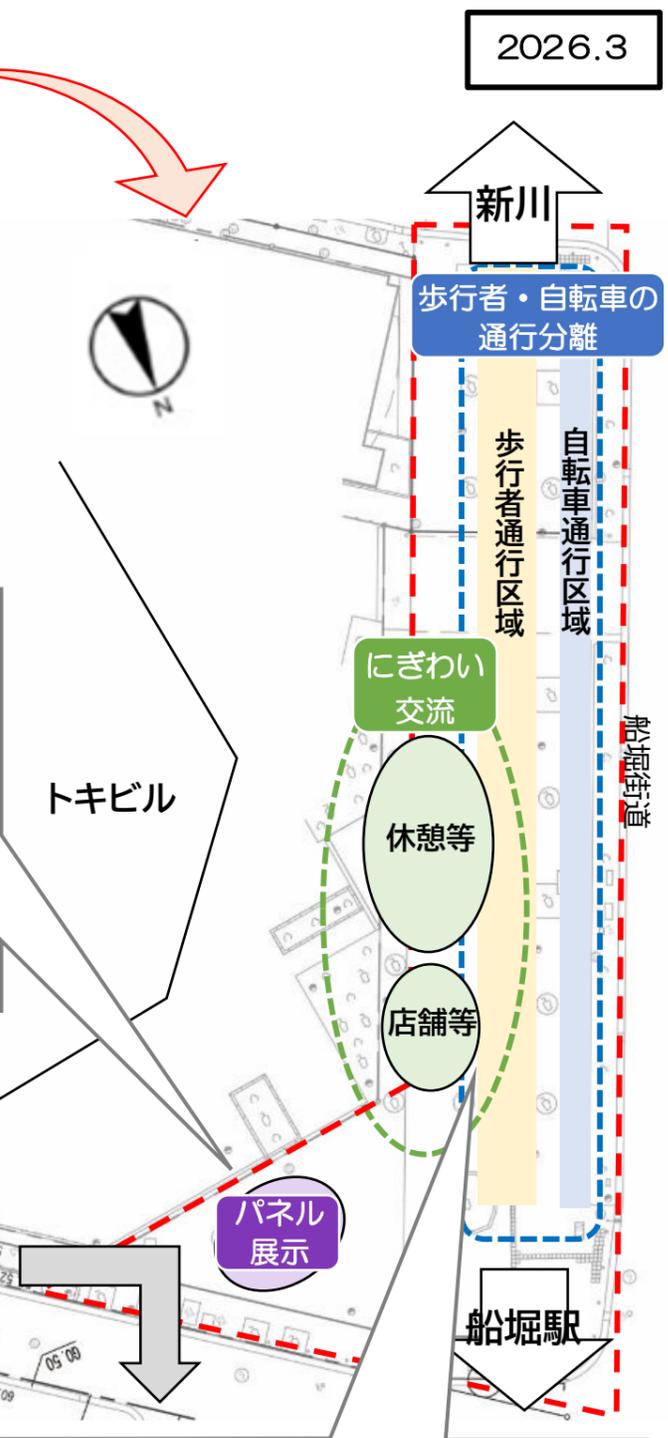
# 令和7年度 船堀駅前地区オープンハウス型意見交換会 開催結果

2026.3

## 【令和7年度 オープンハウス型意見交換会の開催内容】

- 目指すまちの将来像を地域と共有するため、パネル展示やシールアンケートを行いました。地域ニーズの把握とまちづくり意識の醸成を図るとともに幅広い世代の方にご参加頂きました。
- グリーンロードは、船堀駅南口やタワーホール船堀前に広幅員の歩道が整備されています。新庁舎前についても同様の整備を目指しており、駅の南北にわたる連続した空間となります。そこで、快適で回遊しやすいウォークアブルな空間整備を目指すため、船堀駅南口のグリーンロードにおいて、試行的に歩行者や自転車の安全かつ快適な通行空間を確保するとともに、店舗出店などによってにぎわいと交流の場を創出しました。

開催日時	令和7年 11月21日(金)・22日(土) 10~18時 (店舗 10~15時)						
場所	船堀駅南口 (トキビル前 グリーンロード)						
内容	<p><b>パネル展示</b> ⇒船堀駅前のまちづくりや新庁舎整備に関するパネル展示や、シールアンケートを実施した。</p> <p><b>にぎわい・交流</b> ⇒にぎわいがあり歩いて楽しい道路空間となるよう、店舗や休憩スペース(テーブル・ベンチなど)、ポッチャ体験の場(以下、店舗等)を設けた。</p> <p><b>歩行者・自転車の通行分離</b> ⇒歩行者と自転車の双方が安全・快適に通行できるようカラーコーン等で動線を分けた。 また、自転車・歩行者通行区域の自転車による交通量調査も行った。</p>						
参加人数	<table border="0"> <tr> <td>パネル展示コーナー</td> <td>延べ 約 720人</td> </tr> <tr> <td>にぎわい・交流コーナー</td> <td>延べ 約 510人</td> </tr> <tr> <td>自転車通行者数</td> <td>延べ 約 2,700台</td> </tr> </table>	パネル展示コーナー	延べ 約 720人	にぎわい・交流コーナー	延べ 約 510人	自転車通行者数	延べ 約 2,700台
パネル展示コーナー	延べ 約 720人						
にぎわい・交流コーナー	延べ 約 510人						
自転車通行者数	延べ 約 2,700台						



# 令和7年度オープンハウス型意見交換会 アンケート

## 【アンケートについて】

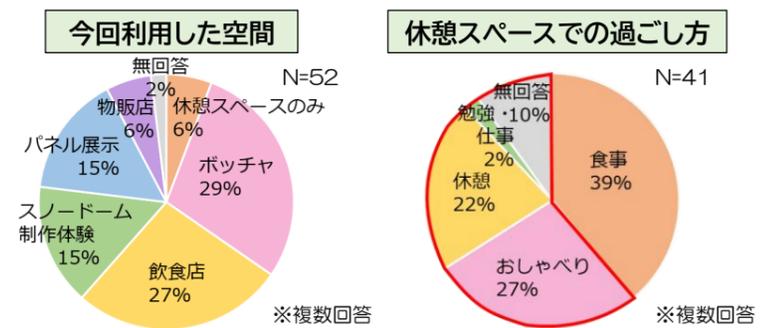
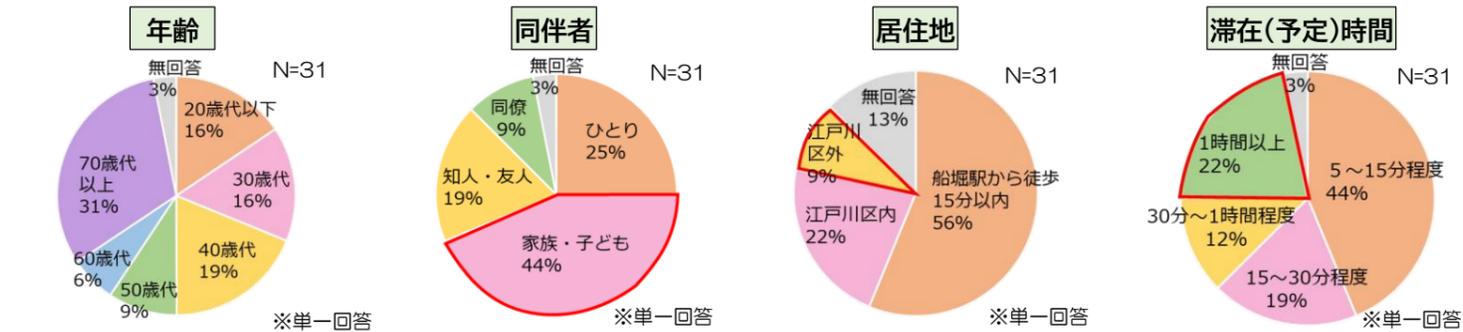
今年度は、道路の多様な使い方の可能性について具体的なイメージを持って頂き、2種類のアンケートを実施しました。

**内容： にぎわい・交流 【筆記アンケート】 対象：休憩スペース利用者**  
 にぎわい・交流スペースでは、テーブルやベンチなどによる休憩スペースを用意し、その利用者に対して下記のアンケート調査を行った。

**内容： にぎわい・交流 歩行者・自転車の通行分離 【シールアンケート】 対象：パネル展示来訪者**  
 パネル展示スペースでは、来訪していただいた方たちに、年齢別に色分けしたシール貼付けによる下記のアンケート調査を行った。

## にぎわい・交流

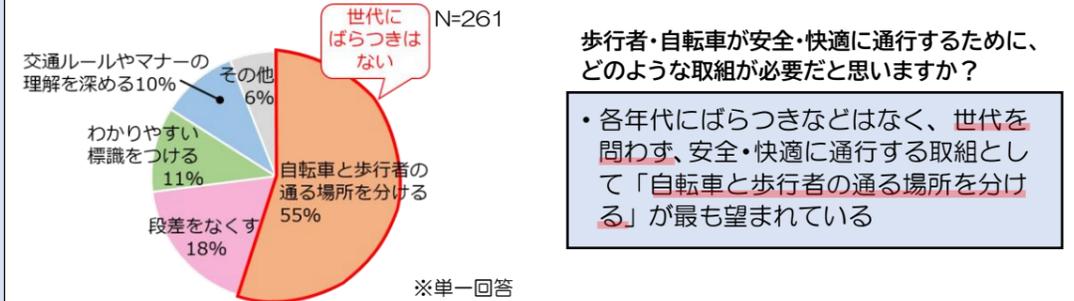
### 【筆記アンケート】 対象：休憩スペース利用者



- ・利用者は70代以上が多いが、家族・子どもとの利用が多かったことから若い方も各世代に利用された。
- ・居住地は江戸川区に住んでいる人だけでなく、仕事で来た方など江戸川区外も利用があった
- ・滞在時間は「5～15分程度」が最も多い一方で、おしゃべりの利用で「1時間以上」滞在する利用者もいた
- ・休憩スペース利用者の今回利用した空間では、概ねどの内容も均等に利用されていた。
- ・休憩スペースの利用は、店舗があることから食事が大半を占めることが予想されたが飲食以外の利用も多くあった

## 歩行者・自転車の通行分離

### 【シールアンケート】 対象：パネル展示来訪者



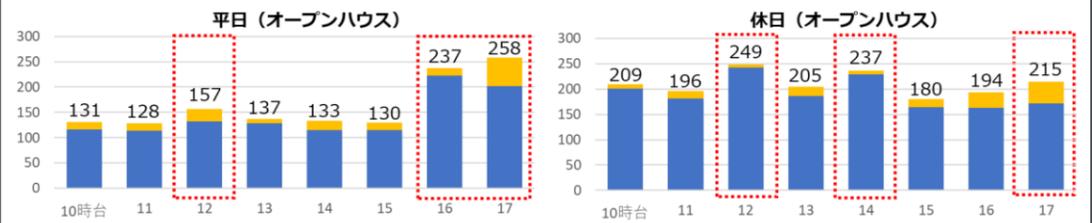
歩行者・自転車が安全・快適に通行するために、どのような取組が必要だと思いますか？

・各年代にばらつきではなく、**世代を問わず、安全・快適に通行する取組として「自転車と歩行者の通る場所を分ける」が最も望まれている**

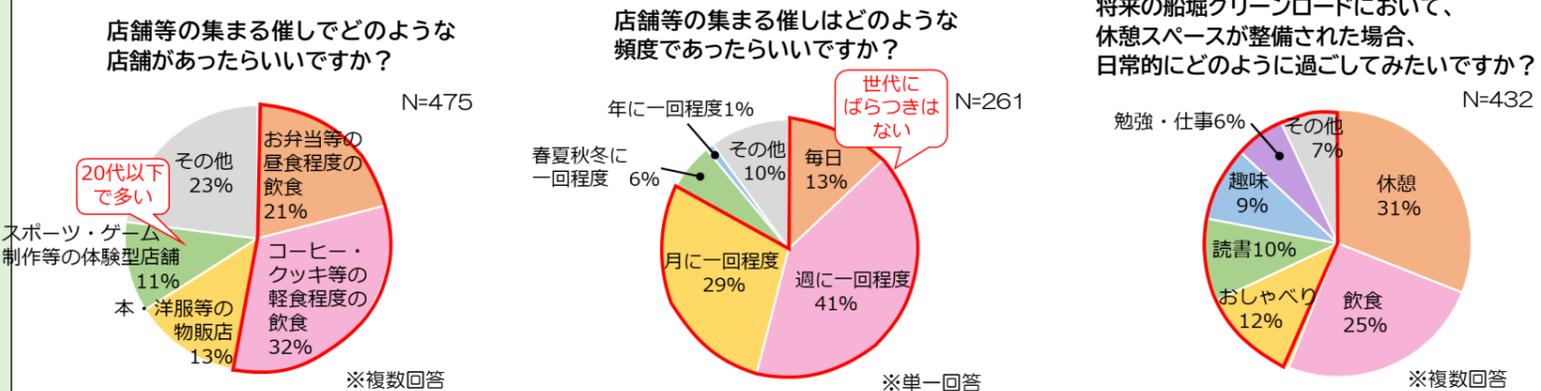
### 【自転車の交通量調査】

○オープンハウス当日の自転車交通量  
 ■自転車交通量は、平日よりも休日の方が多く、平日は16～18時、休日は12～13時、14～15時に交通量が多い。

グラフの凡例  
 ■ 自転車通行区域を通行した自転車数  
 ■ 歩行者通行区域を //



### 【シールアンケート】 対象：パネル展示来訪者



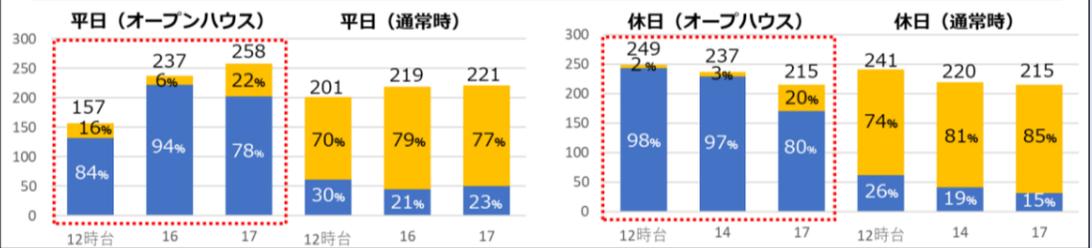
- ・飲食関係を望む声が半数以上あった
- ・20代以下で体験型店舗を望む声が多く、実際に小学生のボッチャ利用が多かった
- ・月1回以上の開催を望む人の割合は全体の8割である
- ・各年代にばらつきではなく、世代を問わず開催を望む声が多い
- ・休憩、飲食が多いもののそれ以外のおしゃべりや読書など様々な声があり、色々な使い方休憩スペースが望まれていることがわかる

### ○自転車通行区域の有無での走行実態の比較

■自転車通行区域をつかった『オープンハウス』において自転車交通量の多い時間帯を自転車通行区域のない『通常時』に再度調査した。

■『オープンハウス』は、道路側である自転車通行区域を通った割合が全体交通量の約9割に対して『通常時』においては、全体交通量の約2割に留まった。

⇒これにより自転車通行区域が設けられていない場合、歩行者と自転車の動線が交わりやすいことがわかる。



### 【その他意見】

- ・歩道は広すぎると感じていたので、このような使い方をすれば人が増えると思う
- ・今回のように子どもの遊べるスペースや一息つけるテーブル・ベンチがあると良い
- ・今回の取組み（自転車と歩行者の分離）は、視覚的にわかりやすくて良い

など

- 当日は、この他に区役所新庁舎基本設計、SDGs、文化複合施設に関するパネルや文化複合施設に関するアンケートなどを行いました。
- みなさまとの意見交換やアンケートの結果を踏まえながら、引き続き船堀駅前地区のまちづくりの検討を進めていきます。